

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策 I-1-2 ソフト系IT産業の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 産業振興課長 馬庭 正人 電話番号 0852-22-5620

事務事業の名称	しまねIT産業振興事業	
目的	(1) 対象	県内のソフト系IT企業
	(2) 意図	技術力・開発力の向上等による事業拡大及び技術人材育成・確保
事業概要	県内のIT産業が持続的に発展することを目指し、人材育成・確保、技術力強化、販路開拓等の支援を通じて各企業が国内外で売れる商品・サービスを構築していくことを促進する。 1. 人材育成・確保支援（県内企業のIT技術者を対象とした実践的な技術習得講座の開催等、即戦力となるIT人材の確保に向けた支援等） 2. 技術力・商品力の強化支援（自社固有製品等の開発、異業種連携による新サービス創出にチャレンジする企業への支援等） 3. 情報発信・販路開拓支援（中小企業経営者を対象としたIT利活用に向けた講演等の普及啓発、独自製品を持つ県内企業の販路開拓等への支援等）	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	ソフト系IT産業の売上高	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		175.00	180.00	185.00	190.00	
式・定義	島根県情報産業協会「ソフト系IT業界の実態調査」におけるソフト系IT産業の売上高(前年度実績値)	実績値	165.10	178.30	178.40	215.60		億円
		達成率		101.90	99.10	116.60		%
指標名	ソフト系IT企業の従業者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		1,152	1,187	1,222	1,260	
式・定義	島根県情報産業協会「ソフト系IT業界の実態調査」におけるソフト系IT企業の従業員数(前年度実績値)	実績値	1,086	1,123	1,127	1,163		人
		達成率		97.50	94.90	95.20		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	157,662	395,972
うち一般財源(千円)	157,662	395,972

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・H20年以降、売上高、従業員数は継続して増加（（一社）島根県情報産業協会アンケートによる）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・県内IT産業は、システム開発件数の増加等の影響により売上高が増加。
- ・従業員数が増加する中、Rubyエンジニアの人数も継続して増加。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・新たに自社製品を開発し県内外に販売展開ができる企業や、異業種と連携し新たなサービスを創出する企業が少ない。
- ・企業の将来を担う若い技術人材が不足。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・一定のボリュームが期待されるためであるが、下請・官公需に依存する企業が多い。
- ・県内の教育機関等からの地元IT企業への就職率が低い

③原因を解消するための「課題」

- ・多様な受注が可能となるよう技術・開発力の向上。
- ・技術人材の育成・確保。
- ・将来にわたり地域から安定的に人材を育成することが必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・事業の多様化にチャレンジする企業を支援。（受託開発の多様化、自社製品の開発・販売、異業種との連携によるサービス創出）
- ・業績拡大を支える人材の育成・確保。
- ・県内の高校、専門学校等へIT企業の技術者を講師として派遣し若手人材の育成を支援

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）